

# 決算概要

## 2022年度 第2四半期

(2022年4月1日～2022年9月30日)

2022年11月11日

## 1. 決算概要

- (1) 2022年度 第2四半期業績と通期予想の概要 P.03
- (2) 受注残高・売上高・営業利益の推移 P.04
- (3) 2022年度 第2四半期営業利益の変動要因 P.05
- (4) 資産・負債・純資産の状況 P.06

## 2. 中期経営計画 重要戦略の状況

- (1) カーボンニュートラルを中心に新市場の創出 P.08
- (2) 既存商品のニーズ適合ブラッシュアップで拡販と利益向上 P.10
- (3) 働きがいのある職場作り P.11

# 1 - (1) 2022年度 第2四半期業績と通期予想の概要

単位：百万円

項目/年度別	2021年度2Q	2022年度2Q	前年同期比	2022年度予想
受注高	10,626	<b>13,546</b>	127%	37,500
売上高	9,834	<b>9,585</b>	97%	32,500
営業利益	△321	△ <b>692</b>	—	1,450
経常利益	△195	△ <b>566</b>	—	1,550
親会社に帰属する四半期純利益	△255	△ <b>272</b>	—	1,100

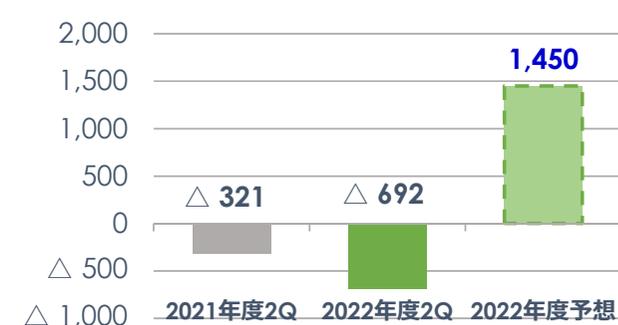
受注高 (百万円)



売上高 (百万円)

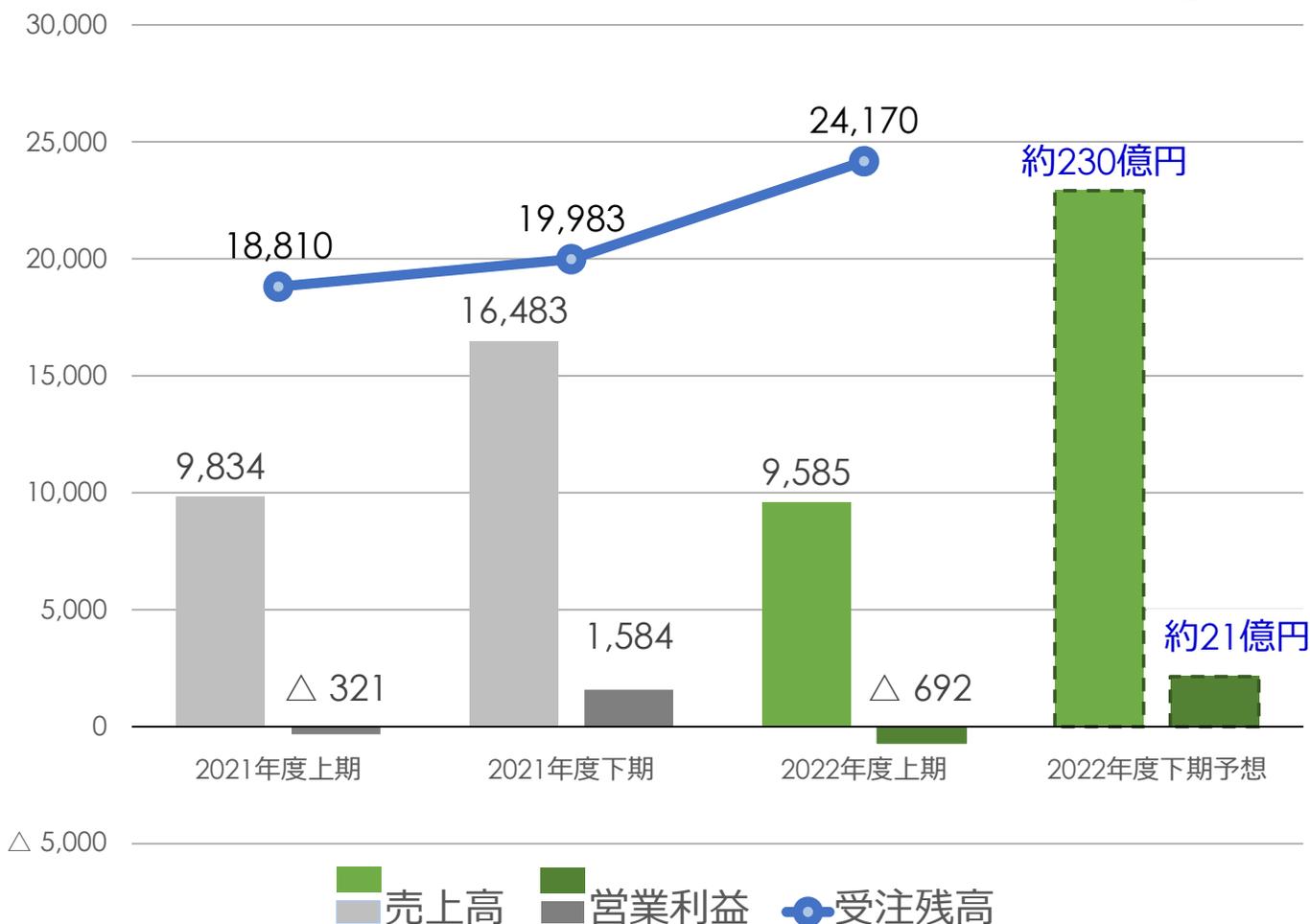


営業利益 (百万円)



# 1 - (2) 受注残高・売上高・営業利益の推移

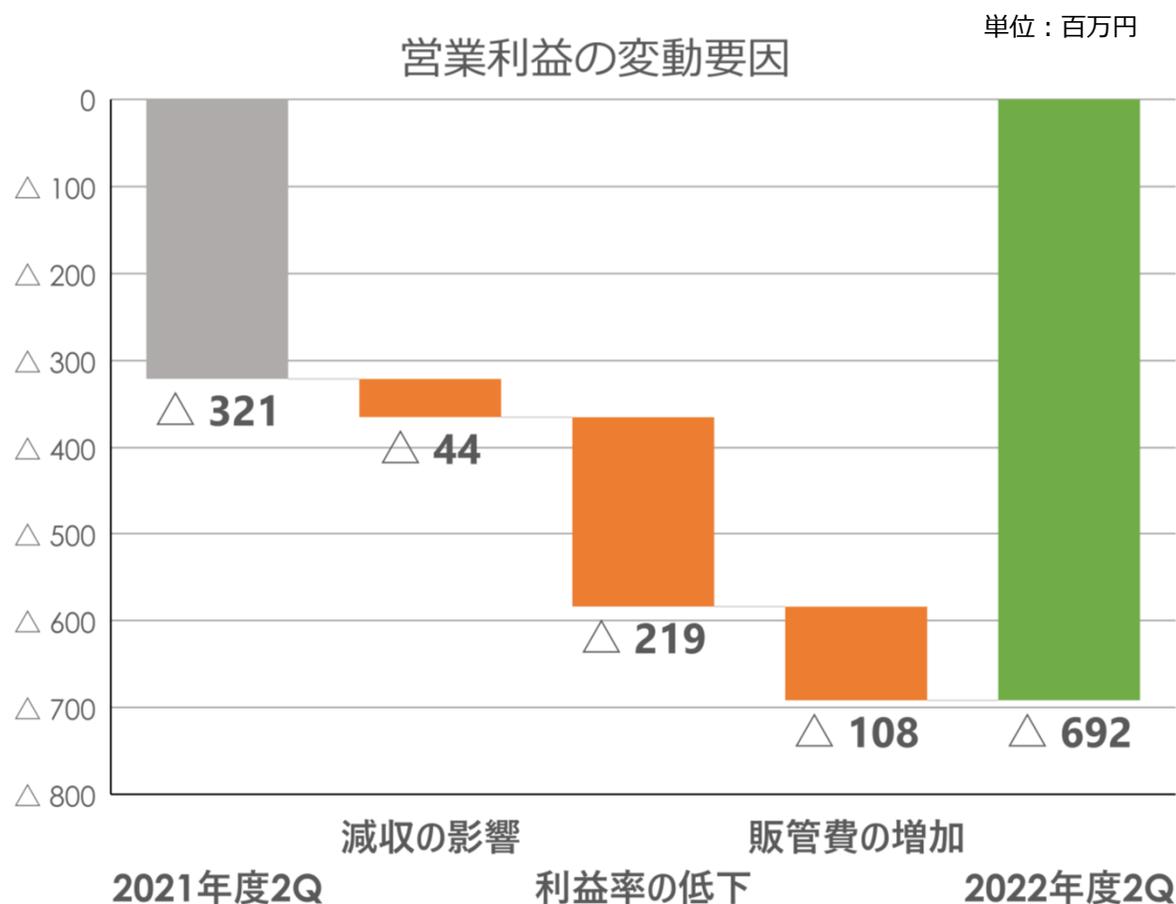
単位：百万円



## 2022年度下期の業績予想

- ・ 2022年9月末受注残高は241億円と前年同期比53億円増加
- ・ 鉄鋼向け加熱炉や機械部品・半導体部材熱処理炉など大型案件等の売上高約230億円を見込む
- ・ 原価率の改善、労務費・経費等の固定費の占める割合も減少し、営業利益は約21億円で通期業績達成を見込む

# 1 - (3) 2022年度 第2四半期営業利益の変動要因



## 2022年度上期の営業利益変動要因

- ・ 1Q売上高は大型案件なく、前年同期比△18%の36億円
- ・ 2Q売上高は前年同期比+11%も、2Q累計売上高は前年同期比△3%の95億円に留まる
- ・ 原材料高や労務費・経費等の固定費増加をカバーできず営業利益は△3.7億円減少の△6.9億円

2022年度	1Q	2Q	累計
売上高	3,692	5,893	9,585
売上原価	3,347	4,751	8,098
販管費	1,078	1,101	2,179
営業利益	△733	41	△692

# 1 - (4) 資産・負債・純資産の状況

## 資産の部要旨

単位：百万円

科目	2022/3	2022/9	増減
<b>資産合計</b>	<b>38,141</b>	<b>35,330</b>	<b>△2,810</b>
流動資産	27,271	25,104	△2,166
固定資産	10,870	10,225	△644
有形固定資産	4,182	4,078	△104
無形固定資産	363	324	△38
投資その他の資産	6,323	5,822	△500

## 負債・純資産の部要旨

単位：百万円

科目	2022/3	2022/9	増減
<b>負債合計</b>	<b>14,929</b>	<b>13,334</b>	<b>△1,594</b>
流動負債	12,449	10,955	△1,493
固定負債	2,480	2,379	△101
科目	2022/3	2022/9	増減
<b>純資産合計</b>	<b>23,211</b>	<b>21,995</b>	<b>△1,215</b>
株主資本	20,545	19,585	△960
その他の包括利益累計額	2,522	2,268	△254
非支配株主持分	143	142	△0

## 自己資本比率・借入金依存度

	2022/3	2022/9	増減
自己資本比率 (%)	60.5	<b>61.9</b>	+1.4
借入金依存度 (%)	10.5	<b>11.8</b>	+1.3

現預金、売掛金等の減少により総資産は減少。配当金支払い等により純資産は減少するも、財務指標は健全性を維持。

## 2. 経営理念と中期経営計画：重要戦略の状況

### 【経営理念】

中外炉工業は、熱技術を核として新しい価値を創造し、  
これを通じて社会に貢献するとともに企業の繁栄と社員の幸福を実現する。

「新しい価値を創造」



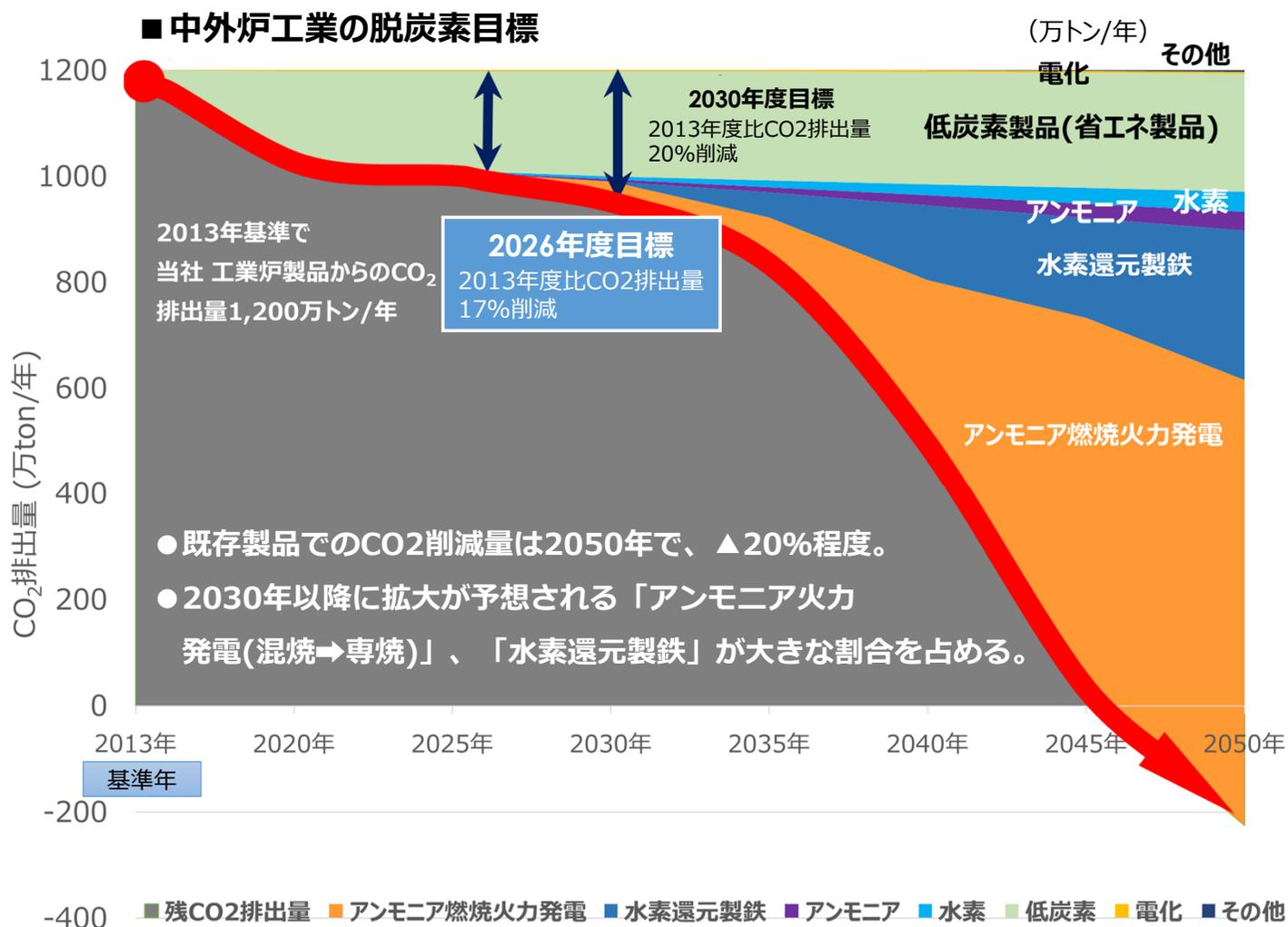
### 【3つの重要戦略】

- (1) カーボンニュートラルを中心に新市場の創出
- (2) 既存商品のニーズ適合ブラッシュアップで拡販と利益向上
- (3) 働きがいのある職場作り

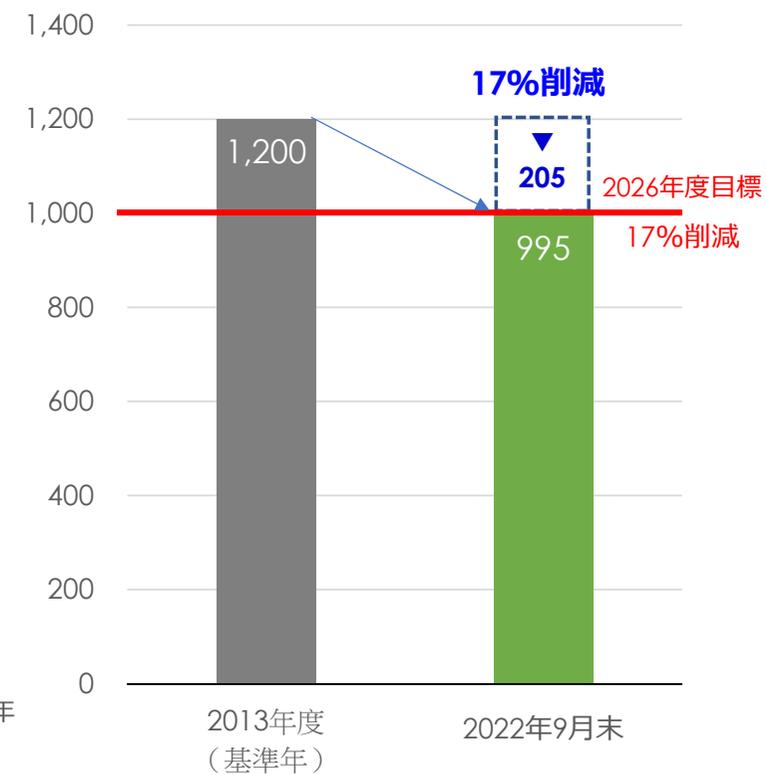
### 【経営ビジョン2026】

**自らを変革し、カーボンニュートラル技術で未来をひらく！**

## 2-（1）カーボンニュートラルを中心に新市場の創出



■ 当社の稼働中の製品から排出されるCO<sub>2</sub>量 (万トン/年)



## 2-（1）カーボンニュートラルを中心に新市場の創出

### ■ 脱炭素・省エネルギー技術への開発取り組みを強化

今後、脱炭素・省エネルギー技術に対するニーズはより一層高まることが確実視される中、当社も脱炭素社会への貢献に向け、様々な開発取り組みを行っています。政府、団体、企業の指針やインフラ整備の推移など外部環境の潮流を捉えるマーケティング活動と技術開発の連動によって、中長期的な開発を強化しています。

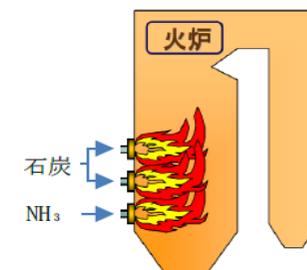
#### 1. 革新的NH<sub>3</sub>燃焼による脱炭素工業炉の開発

- 期間：2021年5月～2年間（NEDO）
- 共研先：大阪大、東京大
- 研究内容：NH<sub>3</sub>燃焼式RT、RCBバーナ
- 試験炉でアンモニア専焼バーナのテストを実施中



#### 2. CO<sub>2</sub>フリー-NH<sub>3</sub>火力発電所での利用拡大への研究開発

- 期間：2021年6月～3年間（NEDO）
- 共研先：電源開発、電中研、大阪大、産総研
- 研究内容：火力発電向け大容量NH<sub>3</sub>バーナ
- 試験炉でアンモニア専焼バーナのテストを実施中



#### 3. 水素バーナ適用を拡大し、CO<sub>2</sub>削減

- ガス浸炭炉に適用するラジアントチューブ型水素燃焼実証炉を2022年4月に堺事業所に設置。多数のお客様が実証炉の視察に来所されています



#### 4. 高出力ヒータによる「電化」の推進

- 主力のガス焚き式熱処理炉に代わり、新開発の高出力ヒータを搭載したバッチ式ガス浸炭炉の試験炉を2022年5月に設置。IoT管理システム（CRism）も搭載し、お客様の受託試験を実施中



### ■ 半導体関連の熱処理設備や火炎内処理設備を相次ぎ受注

成長が見込める半導体業界の新規顧客を開拓し、半導体関連治具のカーボン用高温焼成炉や、ファインセラミックス用ホットプレス、FPD用装置技術を応用したICパッケージ用クリーンオーブンなどを提案し、多数の成約を得ることができました。また、純酸素燃焼バーナの高温火炎を利用した火炎内処理設備 INFLAZ®は、粉体の球状化や噴霧焼成を対象に製品の歩留まり・品質向上につながるため、電子部品・半導体材料向け熱処理設備として実績を積み重ねております。当社は、さらに人員を増強し、旺盛な需要に対応していく考えです。



電子部品材料の高温・高圧焼成「ホットプレス」



火炎内処理設備「INFLAZ®」

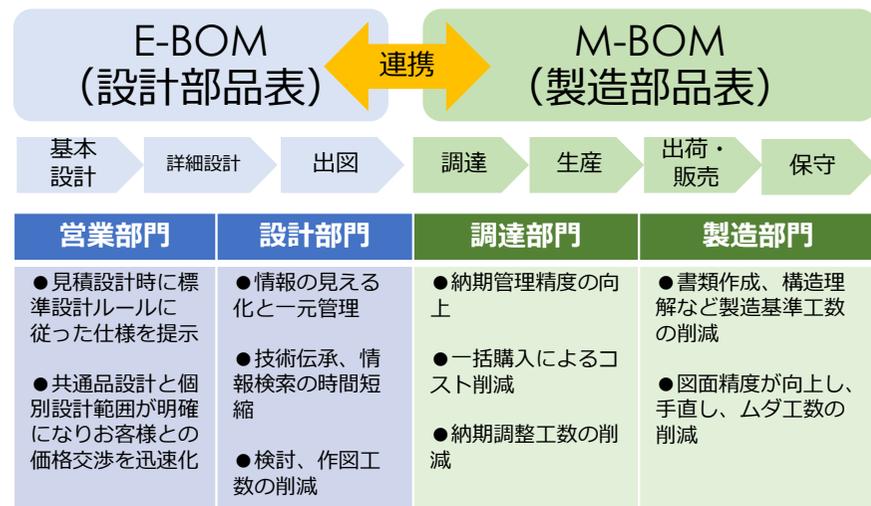
## 2 - (3) 働きがいのある職場作り

### ■ 設計支援システムの刷新で飛躍的な生産性の向上を目指す

2022年4月に「業務改革推進室」を新設し、エンジニアリング会社として最も重要な設計業務の支援システムの開発を進めております。過去の膨大な製品及び技術資料の整理とその仕組みを整備しながら、Step 1 で部品手配支援システムを開発・導入し、設計の標準化、モジュール化を推進。Step 2 で生産部門にまたがる手配業務の電子化を実現し、飛躍的な生産性向上を図ります。

本システムの運用により、中期経営計画の指標「一人当たりの営業利益の拡大」を着実に進めてまいります。

#### 新設計支援システムの導入イメージと期待される効果



#### 新設計支援システムの開発・導入スケジュール

名称	項目	内容	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
Step1	部品手配支援システム	E-BOM(設計部品表)の最適化		要件定義・開発			
						テスト・運用	
Step2	手配業務の電子化	M-BOM(製造部品表)の社内共有化			要件定義・開発		
							テスト・運用

## 2 - (3) 働きがいのある職場作り

### ■ 当社グループ国内子会社の組織再編について

当社は、次の組織再編を2023年4月1日付で実施し、グループ全体の生産性向上を目指します。

● 中外エンジニアリング、中外プラント、シーアールの国内子会社3社を中外プラントを存続会社として、他2社を吸収合併することにより、事業を集約し、重複業務の削減等、合理化を図ります。

● 同時に、中外エンジニアリングの取扱商品は、中外炉工業本体に移管し、環境保全設備の新商品開発や既存商品のブラッシュアップを図ります。

※2023年4月1日以降の環境保全設備の営業窓口は当社営業部門となります。



### 合併会社の概要

商号	中外プラント株式会社（仮称）
本社所在地	堺市西区築港新町2丁4番
事業内容	工業炉等の技術サービス、人材派遣業、損害保険代理店業、リース業
資本金	50百万円
従業員数	179名 ※合併前3社の単純合計。実際はグループ間の人事異動等で変動
株主	中外炉工業100%

### 合併前の国内子会社3社概要

	中外エンジニアリング	中外プラント	シーアール
代表者	藤田 和久	城月 照憲	根来 茂樹
事業内容	環境保全設備、燃焼設備等の設計・製作・販売・技術サービス	工業炉等の技術サービス・人材派遣業	損害保険代理業・リース業・人材派遣業
資本金	20百万円	10百万円	20百万円
設立年月	1992年4月	1999年8月	1959年5月
従業員数	60名	87名	32名
株主	中外炉工業100%	中外炉工業100%	中外炉工業100%

この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後様々な要因等によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2022年11月11日

【本資料に関するお問合せ先】

**中外炉工業株式会社** 経営企画部  
〒541-0046 大阪市中央区平野町3-6-1  
TEL 06-6221-1251 (代表)  
e-mail: [web\\_master@n.chugai.co.jp](mailto:web_master@n.chugai.co.jp)